

## 令和4年度 第17回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年12月10日（土） 13時00分～16時00分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター1階 視聴覚室
- 3 出席者 子ども会議委員7名、事務局2名
- 4 活動内容 (1) 子どもの権利条約フォーラム2022 in 那覇／沖縄  
(2) トークイベントについて

### 5 開催概要

青森市子ども会議では、昨年度参加した「子どもの権利条約フォーラム」に、今年もオンラインで参加することになりました。全国の子どもの活動を知ることができる良い機会なので、良いところを積極的に見つけ、自分たちの活動に活かしていきたいと思います。

#### 子どもの権利条約フォーラム2022 in 那覇／沖縄

私たち青森市子ども会議は、子どもの権利条約フォーラムのメインセッションに参加しました。メインセッションでは、全国の参加団体の活動紹介と「子どもと大人、一緒に創る未来予想図」をテーマにディスカッションが行われます。

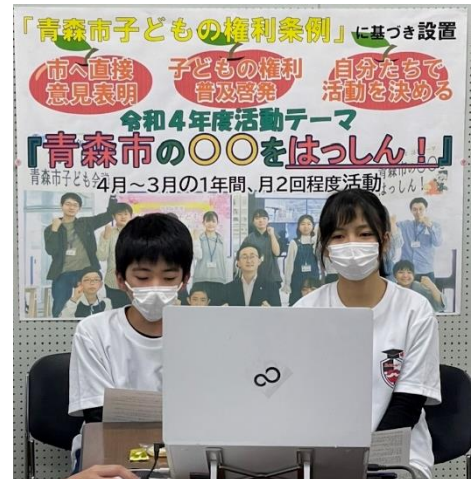
青森市子ども会議の活動紹介を行う予定だった中学生委員が参加できなくなったので、急遽、中学生委員と小学生委員で発表することになりました。何回かリハーサルを行い、制限時間内に発表できるように練習をして本番に備えました。

13時になり、子どもの権利条約フォーラムが始まりました。

はじめに、主催者からのあいさつがあり、その後、オンラインで参加している団体の活動紹介と続きました。参加団体は、10月にオンライン交流をした豊田市子ども会議をはじめ、NPOとして活動する子ども団体など全部で6団体で、前回とは異なる団体の活動内容を聞くことができ参考になりました。2分という短い時間で活動を紹介するのは難しく、準備した発表用スライドを画面共有できないトラブルもありましたが、子ども会議公式Instagramのフォローを呼びかけたところ、すぐにフォローをしてもらえたのでうれしかったです。

ディスカッションでは、会場で参加している大人4人と子ども7人で、「子どもが大人に言いたいこと」、「子どもの悩み」等を自己紹介とあわせて発表し、それについて大人が答え、討論をしました。子ども達はどうしたいと思っているのかなど、大人と子どもが本気で語り合い、オンラインで参加している人は、チャット機能を使って想いを伝えました。

参加者からは、「沖縄は島国のため、何か移動しようとするすると旅費が絶対に必要になってしまう。予算の制度化が必要だと思う」といった沖縄ならではの活動の悩みや、「修学旅行に行くことができ



なかったなど行事を奪われた子どもたちに大人は何をしてしてくれるのか」といったコロナ禍での思い、「マスクをつけることができないため学校に行けなくなってしまった。そんな子たちを助けられるようなフリースペースをつくろうと思っている」など目に見えない障がいへの理解がまだまだ足りないこと、「生徒会やボランティア活動をやる理由に受験の評価に繋がるからという考えがある」ことなど、子どもたちの日ごろ抱えている思いなどが話題に挙がりました。

参加した大人の皆さんは、子どもたちの率直な意見を前に、回答に悩む場面もありましたが、子どもたちがいま抱えている悩みなどをきちんと聞いて受け止め、真摯に答えてくれていました。また、子ども参加や子どもの意見表明について考えてくれている大人たちが、真剣に自分の意見を出してくれました。

このほか、「子どもの声を聞ける環境、子どもたちが語れる環境、子どもがイキイキと話せる環境とはどんなものか教えてほしい」、「評価されるからボランティア活動をするという社会にしてしまったのかと思うとショックを受けた」、「声を出せない子どもたちの声を代弁する必要がある、子どもたちがあげた声を受け止めてくれる大人がいることで、多様性のある社会として、いろんな人が一緒に生きていけるように少し変わっていく」など、さまざまな部分で子どもの権利について考えさせられる意見がありました。

会場での話し合いが盛り上がり、私たちのチャットへの書き込みにはあまり触れられませんでした。同世代の子どもたちが、たくさんの観客の前で、大人の皆さんに堂々と意見を発している姿に感銘を受けました。

### トークイベントについて

子どもの権利条約フォーラムへの参加終了後は、2月に開催するトークイベントについて話し合いをしました。

はじめに、チラシについて考えました。前回、小中学生委員が作成してくれたデザインをもとに事務局がアレンジした4つのデザイン案の中から多数決で決めました。決まった案を土台にして、チラシに載せる写真などを選びましたが、今回だけでは決まりそうになかったため、候補をいくつか決めました。

次に、残りの時間で、トークイベントで出題する子どもの権利や子ども会議に関するクイズを考えました。選択肢を用意したクイズのほか、○×クイズや謎解き問題など様々なクイズを作りました。

次回も、引き続きトークイベントに向けて準備活動を行います。